

第5学年 外国語科学習指導案

板東小学校 5年竹組 22名
指導者 HRT 三原 春花
JTE 鈴木 真衣

1 単元名 Lesson 9 I love my town. 板東のステキを伝えよう (Junior Sunshine 5)

2 単元の目標

- ・名産品や場所・建物等を表す語句やそのよさを伝える表現を理解し、自分の町について話したり書いたりすることができる。【知・技】
- ・自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて、話したり書いたりすることができる。【思・判・表】
- ・自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて、話したり書いたりしようとする。【態度】

3 児童の実態

本学級の児童は明るく活発で、外国語の時間にも進んで学習に取り組んでいる。ALT や HRT の話す英語をよく聞き、知っている表現や話し手の表情、ジェスチャーなどから内容を推測したり、質問に答えたりする姿が見られる。また、ペアやグループの活動では、互いに協力しながら積極的に友達とかかわろうとしている。しかし、やり取りの際に質問ができず単調な会話になったり、いつも同じ反応や表現を使ったりするなど、実際のやり取りになると、自分の伝えたいことを思うように表現することへの難しさを感じている児童も多い。

そこで、課題に出会った際、既存の知識・技能を活用して児童自らがなんとか解決しようとする自立的な態度を育成したいと考え、Small Talk を積極的に取り入れてきた。Small Talk では、指導者の会話をしっかりと聞かせるとともに、児童同士で課題解決の方法を探り、学び合う体験をさせたいと考え、困ったことや英語で言いたかった表現等を全体で共有する中間評価を大切にしている。また、コミュニケーションカードを用い、自分が使っている反応や質問の表現を可視化することで、会話に広がり生まれるようにした。これらの活動を継続的に取り組むことを通して、自分の伝えたいことがなんとか相手に伝わった経験を積み重ね、英語を使ってコミュニケーションを図ることへの意欲が高まってきている。

「Lesson4 Can you do this?」では、自分のできること、できないことを紹介し合うことで、友達や校内の先生の今まで知らなかった新たな一面に気付き、仲間同士の相互理解にもつながった。また、「Lesson6 My Hero」では、自分や第三者の得意なことを表す表現を使って、自分にとってのヒーローを友達と伝え合った。ヒーローは、偉人や有名人だけでなく、身近な家族や友達、地域の方々の中にもいることに気付き、自分にとってのヒーローも友達にとってのヒーローも大切な存在であるということを実感し、互いの思いを受け入れる仲間づくりにつながった。

4 単元について

(1) 単元構想

本校では、1年生から行事や様々な教科等を通して、自分たちの住む地域と関わる活動を段階的に行ってきた。5年生では、総合的な学習の時間にドイツ館や賀川豊彦記念館等の施設を訪れたり、コウノトリの保護活動をしている方の話を聞いたりしてきた。また、四国霊場一番札所である霊山寺においてお接待体験を行い、国内外から多くのお遍路さんが訪れていることを知った。これらの経験から、自分たちの住む地域に受け継がれてきている心温まる歴史や文化を改めて誇りに感じ、自分たちも「板東の心」を受け継いでいきたいという思いをもった。本単元は、このような地域での体験や総合的な学習の時間との関連を図って、単元設計を行っている。

また、英語を使う相手意識・目的意識を明確にし、児童の主体的なかかわりを促すために、9月よりニュージーランドの子どもたちとのオンラインでの交流の場を設けてきた。互いに自己紹介をしたり質問をし合ったりする活動を通して、自分が知っている英語を使って伝え合う喜びを実感し、もっと話したい、自分たちの町のことも伝えたいという思いの高まりにつながっている。

本単元の前半では、指導者の会話から単元全体の見通しをもち、名所や名産品、様子を表す表現を聞いたり、It's famous for ~. This is ~. You can ~. の表現を使って話したりする。第3時では板東の名所や名産品についてペアで話し、自分が紹介したい板東の町のよさを伝えるための計画を立てる。第4時には、板東の町のよさをよりよく伝えるために、紹介の仕方を工夫し、第5時では、ALT に板東の町の紹介を行う。単元終末の活動では、ニュージーランドの子どもたちに届けるために、自分の紹介したい町のよさを書き、ポスターを作成する。

(2) 主題とのかかわり

本校研究主題である「豊かにかかわり 伝え合い 学び合う学習の創造」の実現に向けて、ニュージーランドの子どもたちに、自分たちの住む町のよさを紹介する活動をゴールとして位置づけた。教室で ALT への紹介だけに留まらず、同年代であるニュージーランドの子どもたちへと、かかわる相手を広げていくことによって、自分の思いや考えを伝えながら、学びを深める機会としたい。人とかかわり、伝え合う素晴らしさを実感させるとともに、さらなる学びへの意欲につなげていきたい。

本時では、Small Talk や板東の町の紹介をよりよくする活動に、ペアやグループでの学習を計画的に取り入れ、学び合う場面を設定している。その際、伝え方や語句、表現の仕方を児童自身が考え、ペアで相談したり、確認したりしながら改善していくことで、互いのよさを取り入れ、よりよい学びに向かう姿を期待している。

(3) 本単元における評価について

本単元では、「話すこと [発表]」「書くこと」の領域で、指導者による行動観察とポスター記述分析により評価を行う。「話すこと [発表]」については、単元を通して児童全員を見取ることができるよう、ALT や JTE と分担して計画的に行動観察を実施し、児童の振り返りシートや自己評価・相互評価の記録を参考にしながら、継続的に指導をする。こうした過程を経て、単元終末には「おおむね満足できる」状況の実現を目指したい。さらに学期末には、パフォーマンステスト、ペーパーテストによる評価を行い、その結果とともに本単元の中で記録した評価も加味して、総括的に評価する。

本時では、「話すこと [発表]」の「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点についてペアや全体で発表し合っている場面で形成的評価を行い、指導改善や学習改善につなげる。行動観察の中で目標への到達状況が十分ではないと判断した児童には、既習語句や表現を十分に聞かせたり使ったりする機会を設け、工夫がみられる友達の発表を見る機会を設ける。個に応じた適切な指導や支援を行うとともに、中間評価の際にはそれぞれの成果や課題を全体で共有することで、個々の自己調整を促し、よりよい活動につなげる。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	〈知識〉 名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for ～. This is ～. You can ～. など、そのよさを伝える表現について理解している。 〈技能〉 自分の町のよさについて、名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for ～. This is ～. You can ～. などの表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
書くこと	〈知識〉 名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for ～. This is ～. You can ～. など、そのよさを伝える表現について理解している。 〈技能〉 自分の町のよさについて、名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for ～. This is ～. You can ～. などそのよさを伝える表現を用いて、例文を参考に書く技能を身に付けている。	本単元では評価しない。	本単元では評価しない。

6 単元計画（全6時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準（方法） ※指導・学習改善のための評価 （方法）
1	<p>◆ 日本や板東の名所や名産品の名前、有名なものを表す表現を理解する。</p> <p>○ Small Talk</p> <p>○ ニュージーランドの子どもたちからの動画を見て、学習の見通しをもつ。</p> <p>○ ポインティング・ゲーム</p> <p>○ 【Let's Listen 2】 p.68</p> <p>○ 自分が好きな名所や名産品について話す。</p> <p>○ 歌“Open Your Heart”</p>				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。
2	<p>◆ 自分の町のよさを紹介するための様子を表す表現を理解する。</p> <p>○ 歌“Open Your Heart”</p> <p>○ チャンツ</p> <p>○ “What's this?” クイズ</p> <p>○ 板東の名所や名産品に合う形容詞を考えてペアで話す。</p> <p>○ 自分の町のよさについて話す。</p>				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。
3	<p>◆ 様子を表す表現などを用いて、名産品や場所・建物等のよさについて話すことができる。</p> <p>○ 歌“Open Your Heart”</p> <p>○ Small Talk</p> <p>○ 板東の名所や名産品についてクイズを出し合う。</p> <p>○ 板東の町のよさを紹介する計画を立てる。</p>	(発)			◎自分の町のよさについて、名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for～. This is～. You can～.などの表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話している。（行動観察・振り返りシート点検）
4 (本時)	<p>◆ 自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。</p> <p>○ 歌“Open Your Heart”</p> <p>○ Small Talk</p> <p>○ チャンツ</p> <p>○ ぴったりゲーム</p> <p>○ 板東の町のよさをペアで紹介する。</p> <p>○ JTEの紹介を聞く。</p> <p>○ ペアで紹介の仕方を改善する。</p> <p>○ 全体の前で紹介する。</p>	発	発		<p>◎自分の町のよさについて、名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for～. This is～. You can～.などの表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話している。（行動観察・後日パフォーマンステスト）</p> <p>◎自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。（行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト）</p>

5	<p>◆自分の町のよさをよく知ってもらうために、板東の町の紹介について自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。</p> <p>○ Small Talk ○ 歌 “Open Your Heart” ○ 町のよさを紹介する練習をする。 ○ ALT に板東の町のよさを紹介する。</p>	発	発	発	<p>◎自分の町のよさについて、名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for ～. This is ～. You can ～.などの表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・振り返りシート点検)</p> <p>◎自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト)</p> <p>◎自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。(行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト)</p>
6	<p>◆自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、例文を参考に書くことができる。</p> <p>○ 歌 “Open Your Heart” ○ 板東の町を紹介するポスターを作る。</p>	書			<p>◎自分の町のよさについて、名産品や場所・建物等を表す語句や It's famous for ～. This is ～. You can ～.などそのよさを伝える表現を用いて、例文を参考に書いている。(行動観察・ポスター記述分析・後日ペーパーテスト)</p>

※ 単元終了後、ニュージーランドの友達とオンラインで交流し、板東の町の紹介をする。

本単元で扱う主な表現

It's famous for ～. This is ～. You can see / eat ～. 形容詞 (long / short, big / small, new / old, hard / soft, light / heavy, fast / slow, hot / cold), 名産品, 場所, 建物,
既習 (I like ～. good, nice, wonderful, interesting, beautiful, exciting, cool, sweet, delicious)

7 本時の学習

(1) 目標

自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		・指導上の留意点 △準備物 ◎評価規準(方法)
		HRT	JTE	
10分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		・英語で挨拶をし、楽しい授業の雰囲気をつくる。
	・歌を歌う。 “Open Your Heart”	・児童と一緒に歌う。		△ミュージックビデオ CD(らくらくイングリッシュ2)
	・Small Talk をする。	・「好きな食べ物」について話し、モデルを示す。		・既習表現を活用しながら、考えや気持ちを伝え合えるように支援を行う。 △コミュニケーションカード

3分	・本時のめあてをつかむ。	・本時のめあてを確認する。		
		板東の町のよさがよりよく伝わるように紹介しよう。		
	・チャンツをする。	・児童の活動をリードする。	・音声のモデルを児童に示す。	・チャンツやゲームを通して、既習の表現を思い出させる。 △チャンツ用シート、絵カード
5分	・ぴったりゲームをする。	・デモンストレーションで活動の方法を示し、児童の活動をリードする。		
3分	・板東の町のよさをペアで紹介する練習をする。	・個別に助言や支援を行う。		△タブレット PC (地域の写真) ワークシート
9分	・JTE の町の紹介を聞く。	・児童と一緒に JTE の紹介を聞く。	・児童に自分の町のよさを紹介する。	・JTE の紹介から気づいたことを自分の発表に生かせるようにする。
	・よりよい紹介になるように発表の仕方を改善し、ペアやグループで練習する。	・相手を意識した紹介の仕方について HRT と JTE で活動の例を示す。 ・個別に助言や支援を行う。		・指導者の会話から、相手を意識した紹介にするためには、工夫が必要であることを知らせる。
8分	・改善したことを発表し、全体の前で紹介する。	・全体の前で紹介することを告げ、児童の発表を聞く。		◎自分の町のよさについて、名産品や場所・建物等を表す語句や <i>It's famous for ~. This is ~. You can ~.</i> などの表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・パフォーマンステスト)
		・自分や友達の変容や成長に気づくことができるように、助言や指導をする。 ・初めの紹介と比べて、よりよく伝わるように改善している点を、児童と確認する。		◎自分の町のよさをよく知ってもらうために、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト) △タブレット PC (地域の写真) △ワークシート
7分	・本時の活動を振り返る。	・振り返りの観点を示し、感想を聞く。	・児童の活動についての感想を言う。	・児童の活動のよかった点を伝えることで、今後の活動への意欲が高まるようにする。 △振り返りシート
	・挨拶をする。	・次時の活動を知らせ、全体に挨拶をする。		

(3) 児童の学習改善につなげるための見取りと指導

「話すこと [発表]」の「知識・技能」

本時における「おおむね満足できる」と判断される状況	言いよどんだり、表現等に一部間違いが見られたりするものの、板東の町の紹介について、よさを伝える表現を正しく用いながら自分の考えや気持ちなどを含めて話している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための指導	既習語句やよさを伝える表現を用いて、まず指導者が話した後、児童に尋ねるなどして語句や表現を十分に聞かせたり使ったりする機会を設け、学習改善につなげる。

「話すこと [発表]」の「思考・判断・表現」

本時における「おおむね満足できる」と判断される状況	板東の町のよさについて、相手によく知ってもらうという意識にやや弱さが見られるが、自分の考えや気持ちを含めて発表している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための指導	ペアやグループで紹介している場面で適切な指導や支援を行うとともに、友達を発表を見る機会を設け、学習改善につなげる。